

体験グローバル 「株式会社ホーコス」講演のアンケート結果

2015年6月5日7時間目に4年生を対象に、ホーコス株式会社より唐木俊夫さんを講師として本校に来ていただき、講演していただきました。講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようになりました。

質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

集計結果

*総数 195



自由記述 今回の講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

- 世界に身認めてもらえる会社になるために必要なことは「時代とともに変化すること」「どんな環境にも対応できる人材」だと、この講演を聞いて思いました。時代によって世界が必要とするものはどんどん変わり、レベルも高くなります。それに合わせて会社も変化させていくことで、失敗するときもあるけれど、世界に通用する技術も生まれるのだと講演を聞いて感じました。そして、これが一番大切なことなのかも知れないと思ったのが「人材」です。どんな人ともコミュニケーションが取れる人、積極的で明るい人。そういった学力とか功績とかではない部分も大切だということが分かった。
- 世界へ進出していくことによって視野を国内から世界へと広げ、可能性も広げることができることが分かった。「視野を広げ可能性を広げる…」この言葉は自分にも当てはまると、つくづく思った。
- 企業にとって、自分たちの理想を追いかけることも大事だが、利益も追わなくてはいけないということの難しさが分かった。さらには常に時代に合わせていく必要もある…。講演されたホーコスさんは、農機具から始まって、機械設備へと発展させ、環境設備などと合わせて多角化に成功した。「常に時代に合わせる」を体現されていると思った。これからは「時代に合わせる」だけでなく「時代をつくる」戦略が必要ということも講演から学ぶことができました。
- ホーコスのマシンの技術はすごいと思ったが、それ以上に昔からその時代の進みに合わせてつくるものを変えて、社会のニーズに伝えていく姿勢がもっとすごいと思った。世界で活躍できる企業・人材はそういった「変化に恐れず、変化に対応できる姿勢」が大切だと思ったし、それができるための広い視野をもつことが必要だと思った。
- どのような人が企業から望まれるかがわかったし、「目標を高く持った方が、着地点をより高くできる」ということが分かりました。今から可能性を縮めるのではなく、多くの可能性を見つけられるようにしたい。
- 僕は工学部を志望しているので、今回の講演は興味関心をもって聞くことができました。会社が時代の流れに合わせて自社がつくるものを変化させてきたという話では、「会社が生き残っていくために様々な努力をしている」ことがよく分かりました。最先端の技術の話も聞けてこれからの技術の発展がますます楽しみになりました。
- 「失敗しても諦めない」「失敗は成功の母」とよく言われますが、ホーコスさんの歩みはまさにその通りだと感じました。その歴史は僕には想像できないほど、波乱に満ちた日々だったと思います。それでもあきらめなかったからこそ、世界中で用いられるほどに成功を勝ち取ったんだと思います。僕は唐木先生やホーコスさんのような強い精神力を見習いたいと思いました。自分も将来に向けて、「自分のやりたいことを諦めずに貫く」ことが大切だと思いました。僕も今からしなければいけないことをやり、後悔しないように全力で当たっていきたい。
- 福山からでも、日本だけでなく世界で活躍できるということがよく分かりました。今回の講演ではホーコスさんが「古い考えにとらわれず、時代に合わせてその時に合う技術を開発して生き残ってきた」という話を聞いて、「自分の信念は持ちつつも、意地を張らずに変化していくことが大切なんだ」と思いました。
- 福山にも海外展開している企業があることを初めて知りました。地元にも世界に役立っている企業があることを誇らしく思いました。自分も世界で活躍できるような人になりたいと思いました。
- 唐木先生は、私たちと同じ高校を卒業され企業で活躍されていることに尊敬しました。そして、会社を小さなおところから大きく世界にまで広げていく話はすごく考えさせられる内容で勉強になりました。
- 福山にこんな大きな会社があることに驚きました。その会社で私たちの大先輩方が活躍していることを知り、「すごいなぁ」とただただ驚きました。世界や日本の大きな会社に売り込むには技術はもちろんですが、時代を読む力や、相手に売り込むためのパワフルさなども学ぶことができました。